

情報リテラシー

責任者・コーディネーター	情報科学科医用工学分野 小野 保 講師		
担当講座・学科(分野)	情報科学科 数学分野、医用工学分野		
担 当 教 員	江尻 正一 教授、高橋 史朗 教授、小野 保 講師、長谷川 大 助教		
対象学年	1	区分・時間数	演習 21 時間
期 間	前期		

・学習方針（講義概要等）

“読み書き算盤”という学びの基本を示した古くからの言葉があるが、その本質は色褪せることがない。複雑な現代社会の中で病める人々と向き合わなくてはならないこれからの医療人にはさらに“聴く・話す”能力も求められる。コンピュータと関連機器は、これらの学びの基本の習得および実践活用を強力にアシストする現代の神器である。しかし、ボタンを1個押せばあとは御任せというわけにはいかない。本科目は、習得訓練によってコンピュータと関連機器を勉学・研究生活の強力無比なアシスタントとして、倫理観をもって操る能力を学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

情報機器、アプリケーションソフトウェア、ネット等を道具として実践的に利用しながら、より実社会、専門領域等につながる ICT 活用の基礎知識・基本概念を修得することによって、ICT 活用の基礎理解を深め、情報リテラシー能力を高める。このことにより、実社会や専門領域等で出会う、種々の情報関連課題に対して、ICT を用いて情報収集・分析し、適正に判断し、モラルに則って、迅速に効果的に対処する能力を会得することができる。

また、情報ネットワーク社会の構成員としての自覚と責任を十分に理解することで、LAN やインターネットをコミュニケーションツールとして利用する際、情報ネットワークの倫理規範等に従って安全に情報を活用することができる。

（ディプロマポリシー：2）

・到達目標（SBO）

1. コンピュータのハードウェア・ソフトウェアの基本構成とインターネットの仕組みを説明できる。
2. 情報セキュリティー・情報倫理について理解を深め、快適、安全に情報を活用できる。
3. 基本操作およびファイル管理システムを理解し、フォルダ・ファイルの管理が円滑に行える。
4. オフィス関連ソフトを利用できる。
5. データサイエンス・AI を利用するための基礎を理解する。

・ 講義日程
【演習】

クラス 月日	曜日	クラス 時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
C1 C2 6/17	木	3・4	数学分野 医用工学分野	江尻 正一 教授 長谷川 大 助教 高橋 史朗 教授 小野 保 講師	情報の編集・文章化(1)：講義・実習 1. PCの基本操作ができ、ビジネス文書を作成・保存することができる。 2. 情報を整理し、文章で表現できる。 事前学習：WebClassから講義資料をダウンロードし通読する。 事後学習：配布されたサンプルと同様のワープロ文書を作成する。
C1 C2 6/24	木	3・4	数学分野 医用工学分野	江尻 正一 教授 長谷川 大 助教 高橋 史朗 教授 小野 保 講師	コンピュータの基礎と情報の編集・文章化(2)：講義・実習 1.コンピュータの構成と役割について説明できる。 2.情報の基礎表現の仕組みを理解する。 3.指示に従った様式の文書を作成できる。 事前学習：WebClassから講義資料をダウンロードし通読する。 事後学習：コンピュータや情報表現についてまとめたワープロ文書を作成する。
C1 C2 7/1	木	3・4	数学分野 医用工学分野	江尻 正一 教授 長谷川 大 助教 高橋 史朗 教授 小野 保 講師	社会と情報、情報の要約・分析(1)：講義・実習 1.関数を用いて簡単な計算表を作成し、データを視覚化することができる。 2. 社会の変化を理解し、社会で活用されているデータや情報について列挙できる。 事前学習：WebClassから講義資料をダウンロードし通読する。 事後学習：配布されたサンプルと同様の表計算文書を作成する。
C1 C2 7/8	木	3・4	数学分野 医用工学分野	江尻 正一 教授 長谷川 大 助教 高橋 史朗 教授 小野 保 講師	情報の要約・分析(2)：講義・実習 1. 関数を用いて簡単なデータ解析を実施できる。 2. 分析するデータを自ら収集・作成することができる。 事前学習：WebClassから講義資料をダウンロードし通読する。 事後学習：配布されたサンプルと同様の表計算文書を作成する。

C1 C2 7/12	月	1・2	数学分野 医用工学分野	江尻 正一 教授 長谷川 大 助教 高橋 史朗 教授 小野 保 講師	情報セキュリティ, 情報の提示・発信 (1): 講義・実習 1. SNS などのネットサービスの仕組みを理解し、安全に利用できる。 2.情報の扱いにおけるリスクとセキュリティの種類を説明できる。 事前学習: WebClass から講義資料をダウンロードし通読する。 事後学習: 情報セキュリティー・情報倫理についてまとめたスライドを作成する。
C1 C2 7/15	木	3・4	数学分野 医用工学分野	江尻 正一 教授 長谷川 大 助教 高橋 史朗 教授 小野 保 講師	情報倫理/情報の保護, 情報の提示と発信(2): 講義・実習 1. 法律や倫理などを理解して、情報発信ができる。 2.情報の保護に関する事項について説明できる。 事前学習: WebClass から講義資料をダウンロードし通読する。 事後学習: 情報倫理、情報の保護についてまとめた発表用スライドを作成する。
C1 C2 7/21	木	3・4	数学分野 医用工学分野	江尻 正一 教授 長谷川 大 助教 高橋 史朗 教授 小野 保 講師	総合演習: 講義・実習 1.先に作成したスライド・ポスターなどを用いてプレゼンができる。 2.医療における情報システムの利活用の概略を説明できる。 事前学習: 発表時間内に十分な主張ができるように、スライドを精査し、発表練習をする。 事後学習: グループ内の学生の意見も踏まえて医療人としての情報倫理、セキュリティ対策に関してまとめること。

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	[改訂第4版]基礎からわかる情報リテラシー	奥村 晴彦, 森本 尚之	技術評論社	2020
参	キーワードで学ぶ最新情報トピックス 2020	久野 靖 他監修	日経 BP 社	2020
参	情報リテラシー入門 2020 年版	中川 祐治ほか	日経 BP 社	2020
参	医療情報の基礎知識 改訂第2版	一般社団法人日本医療情報学会医療情報技師育成部会	南江堂	2019
参	改定新版 よくわかる情報リテラシー	岡本 敏雄 監修	技術評論社	2017
参	パワポで極める常勝プレゼン	住中 光夫	アスキー・メディアワークス	2011

・成績評価方法

課題提出を含めた積極的な授業への取り組みを 30%、課題内容を 70%として総合的に評価する。課題への取り組みやプレゼンテーションの評価には、学生相互の他者評価も利用する。

・特記事項・その他

1. 本講義は複数のクラスで構成されるが、各クラスとも講義内容等は同じである。
2. 各自、所有のノート PC(MS Windows10/Office2016 以降、最新セキュリティ対策済) を持参すること。なお、Mac 使用者は事前の申し出により授業時間に限り大学所有の Windows PC を借用することができる(講義終了時に返却、学外持ち出し不可)。
3. グループに分かれてプレゼンテーションを実施する機会を設ける。
4. 各回の事前事後学修には合わせて最低 1 時間 45 分を要する。
5. 作成した課題のファイルは期限までに WebClass にアップロードすること。
【参照】医学教育モデル・コア・カリキュラムー教育内容ガイドラインー (平成 28 年度改訂版)

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート PC(MS Windows/Apple Mac)	1	担当教員資料作成、講義プレゼン
講義	ノート PC(MS Windows)	2	実験実習補助者資料作成、講義補助
講義	教室付属 AV システム一式	1	資料提示、講義プレゼン
講義	教室付属プリンタ	2	課題作成